
想い

よう

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

想い

【Nコード】

N6824E

【作者名】

よう

【あらすじ】

一度別れたカップル。またやり直すことになったがオマケが付いてきた？

報われないくらい痛いほどわかってる。

この想いわあなたにだけ向かっているのに。

ねえ…あなたわ今だれを想ってるの…

健太…あたしが初めて心から愛した人。

けど…健太にはもう会えない。

あたしがあんなことをしたから。

あたしは健太の双子の弟溪太と浮気をしてしまった。

理由は溪太にずっと未夢、ミュ、のことが好きだったと言われたから。

もちろん断った。

けど溪太は泣きながら兄貴の次でいいからと言った。

あたしはそんな溪太に断るなんて出来なかった。

そして寝た。

あたしはその罪悪感に対切れず、健太に打ち明けた。あたしは健太ならわかってくれると思ってた。だけど実際はわかってくれるはずもなく別れを告げられた。

あたしは健太にいっぱい謝って、謝って、謝って、やり直したいと言った。

健太は黙って出てった。

もうこの恋は報われないものになってしまった。

あたしは泣いて、泣いて涙が枯れるまで泣いた。

そして、あたしは何度も何度も、溪太と寝た。

溪太のことを愛してたわけじゃない。ただ寂しいだけだった。もうこんな関係駄目だと思った。

溪太に申し訳ない。

『溪太、もうこんな関係やめよう。』

『何で??』

『溪太に悪い。』

『それでもいい。それでもいいから。兄貴何か忘れてくれよ。俺にしろよ!!』

『ごめん。あたしは健太のこと忘れるなんて無理。あたしはいつも顔とか体で選んでた。てゆうか選ばれてた。心じゃなくて顔。体。みんなただあたしと寝たいだけ。だけど健太は違った。心であたしを選んでくれたの。初めてあたしのことを心で選んでくれた人なの。あたしも健太のこと心で選んだ。健太はあたしにとって初めて心から愛した人なの。』

『俺だつて心だよ。お前のその心で好きになつた。真っ直ぐで純粋な心。気が強くせに優しい心。思いやりのある心。全部好きだ。』

『溪太…。』

『愛してる。心のそこから…愛してる。』

『溪太。』

『未夢…。』

ギシ

『…ん。…はあ。溪太』

『未夢…。』

~~~~~

『待つて。電話。』

『えっ。』

『はい。』

『俺。』

『け…んた。』

『兄貴!!??』

『ごめん。やつぱり未夢ぢゃなきゃ俺…。』

『健太……』

『今から会えない??いつもの喫茶店にいるから』

『わかった。』

『兄貴何だって??』

『今から会えないかって。』

『はあ??行くのかよ!?!』

『……うん。』

『今俺と寝ようとしてたのに??!?!』

『……ごめん。』

『俺も行く。』

『だめ。』

『嫌だ。』

『だめ。あたし一人で行く。ついてきちゃだめだからね!?!』

ガチャ

『くそ!?!何で今帰ってくんだよ!?!くそ兄貴が!?!』

『ちつ。俺も行ってやる。どうせいつものサ店だろ!?!くそ!?!!くそ!?!』

『健太!?!!』

『未夢……!?!ごめんな急に。』

『大丈夫。』

『……俺達……やり直さないか??黙って出てったのに……ごめん。だ  
けどやり直したいんだ!?!』

『……あたしもやり直したい。』

『じゃあ『待つて!!話があるの』』

『わかった。』

『あたし健太と別れてから何度も溪太と……寝たの。愛してたわけぢ  
やなくて……寂しくて。けど溪太に悪いと思ったの。だから今日こん

な関係やめようって言った。でも健太を忘れろって言われた。あたしには健太を忘れるなんて無理だった。初めて心から愛した人だから。忘れられたらどんなに楽か…。あたし…そのま…ま…流れで…電話…が…くる…ちよつと…前…に溪太…と、…ね…寝よ…うと、…し…したのっ…！…ごめんなさい…！もうやり直したくなくなつたのならあたしは…諦める。』

『いいんだ。』

『へっ??』

『それでも俺は未夢とやり直したい。』

『健太…あり…が…う。』

『愛してる。別れるまえから気持ちは変わってない。愛してる。』

『あ…たしも、愛してる。』

『そーゆーことかよ。』

『溪太。』

『溪…太…！…！…ごめん…あたし…』

『何でだよ…！…さっきまで俺と寝ようとしてたのに…！…！』

『…ごめん』

『全部俺が悪いんだ！未夢を攻めないでくれ…！』

『嫌だ。未夢…！』

『…ん…！…！…やつ…はあ…や…はああ…』

『未夢…！』

『…はあ…はあ。』

『大丈夫??』

コクッ

『良かった。』

『……だ…めだ。あたし溪太をほっとけない。だけど健太を愛してる。』

『じゃ3Pでいいじゃん』

『でもッ』

『いーよ。俺はそれでも。』

『ぢゃ決まりだな!! 兄貴には負けないぜッ!!』

『俺だつて負けねえ。』

『何か二人とも燃えてない??』

『全然燃えてない』

『!!!!???』

『アハハハハ!! ハモったあー!!』

『はもんなボケッ!!』

『お前こそ!!』

『アハハハハ』

end

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6824e/>

---

想い

2010年12月18日22時31分発行